

# 調查票

## 第2回 患者団体の意識・活動調査

### [記入方法]

- 設問は全部で 19 問あります。
- 回答は調査用紙にご記入いただくか、またはインターネットからもご回答いただけます。
- 回答は、「○印は1つだけ」、「○印はいくつでも」などの案内に沿って進めてください。
- 該当する番号に○を付け、( )には数字や文字をご記入ください。
- 回答は、団体の代表の方、もしくは代表の方より委任を受けた方をお願いいたします。

### I. 貴団体について

#### Q1. 貴団体の情報を教えてください。

- 団体名(正式名称)【必須】( )
- 回答者役職【必須】( )
- 回答者名【必須】( )
- 代表者役職( ) ※回答者と同一人物の場合は記入不要
- 代表者名( ) ※回答者と同一人物の場合は記入不要
- 郵便番号【必須】( - )
- 住所【必須】( )
- TEL ( )
- FAX ( )
- 貴団体のメールアドレス( @ )
- ホームページの有無【必須】 ( 有 ・ 無 )
- ホームページの URL ( )
- 対象としている疾患 ( )

#### Q2. 組織の種別を教えてください。【必須】(○印はひとつだけ)

1. 公益財団法人
2. 一般財団法人
3. 公益社団法人
4. 一般社団法人
5. 認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)
6. 特定非営利活動法人(NPO法人)
7. 任意団体
8. その他( )

Q3. 組織の活動規模を教えてください。【必須】(○印はひとつだけ)

1. 全国で活動している
2. 地域で活動している
3. その他( )

Q4. 設立年を教えてください。(○印はひとつだけ)

1. 1969 年以前
2. 1970 年～1979 年
3. 1980 年～1989 年
4. 1990 年～1999 年
5. 2000 年～2009 年
6. 2010 年～2014 年
7. 2015 年以降

Q5. 会員数を教えてください。本部の場合は総会員数をお答えください。(○印はひとつだけ)

1. 50 人未満
2. 50 人 ～ 100 人未満
3. 100 人 ～ 500 人未満
4. 500 人 ～ 1000 人未満
5. 1000 人 ～ 5000 人未満
6. 5000 人以上 ( ) 人)

## II. 活動の状況について

Q6. 団体として取り組んでいる活動を教えてください。【必須】(○印はいくつでも)

1. 会員同士の会合(親睦・交流活動等を含む)
2. 講演会・勉強会等の開催
3. 会員・患者の相談(ピアサポート、電話相談等)
4. 会報誌・ニュースレター等の発行
5. ホームページの運営
6. 患者の実態等に関する調査・研究
7. 疾病の原因・治療法等に関する医療関係者との研究協力
8. 疾病や治療法等の情報収集
9. 学会への参加、働きかけ
10. 製薬企業との情報交換・協力
11. 治験に関する活動
12. 行政(国・自治体)への各種要望書等の提出
13. 行政の審議会等の会議体への参加
14. 災害対策

15. 疾病啓発活動(社会的認識の向上)
16. 国内の団体との情報交換・交流
17. 海外の団体との情報交換・交流
18. その他( )

**Q7. Q6の選択肢より、今後特に強化したい、または取り組みたい活動について、優先順位の高い順に上位3つまで選び、番号をご記入ください。【必須】**

優先順位 ①( ) ②( ) ③( )

**Q8. 組織運営上、特に重要な課題と認識しているものについて、優先順位の高い順に上位3つまで選び、番号をご記入ください。【必須】**

1. 会員数の維持・拡大
2. 代表者・役員の後継者
3. 運営スタッフの確保
4. 責任、運營業務の特定会員への集中
5. 専門知識の不足
6. 相談機関や相談者の不在
7. 他の団体との連携
8. 活動場所(拠点・会場等)の確保
9. 団体の認知度向上
10. 法人格の取得
11. 広報、情報発信活動の充実
12. 活動資金の不足
13. 行政の援助・サポートが不十分
14. その他( )

優先順位 ①( ) ②( ) ③( )

**Q9. 貴団体の運営・活動に関して、医療従事者や社会福祉の専門職の協力・支援を受けることがあるか教えてください。【必須】(○印はひとつだけ)**

(医療従事者や社会福祉の専門職とは、医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、介護福祉士、臨床心理士、MSW(医療ソーシャルワーカー)、PSW(精神保健福祉士)など、医療業務や社会福祉に従事する方々を指します。)

1. ある
2. ない

Q10. Q9で「1. ある」を選択された方にお伺いします。

医療従事者や社会福祉の専門職の協力・支援を受けた内容について、具体的に教えてください。【必須】(○印はいくつでも)

1. 講演会・勉強会の講師
2. 会員・患者の医療相談会(診断・セカンドオピニオン含む)
3. 会報・HP への寄稿／冊子の監修
4. 正会員・賛助会員・顧問として参画
5. 交流会・懇親会への参加
6. その他( )

### Ⅲ. 貴団体の運営について

Q11. 年間収入を教えてください。(○印はひとつだけ)

1. 100万円未満
2. 100万円～500万円未満
3. 500万円～1000万円未満
4. 1000万円～3000万円未満
5. 3000万円～5000万円未満
6. 5000万円以上

Q12. 年間収入のうち、会費収入はどれくらいの割合か教えてください。(○印はひとつだけ)

1. 10%未満
2. 10%～25%未満
3. 25%～50%未満
4. 50%～75%未満
5. 75%～90%未満
6. 90%以上

Q13. 年間収入のうち、会費以外にはどのような収入があるか教えてください。(○印はいくつでも)

1. 寄付金・協賛金
2. 広告収入
3. 事業収入
4. 民間からの助成金
5. 行政からの補助金・助成金
6. その他( )

#### IV. 行政への働きかけや行政との協働について

Q14. 行政への働きかけや行政との協働について、貴団体で取り組んでいる活動を教えてください。

(○印はいくつでも)

1. 署名活動
2. 要望書の提出
3. 提言活動
4. 議員への情報提供
5. 行政が主催する会議※への参加および傍聴
6. 行政の担当者との情報交換
7. 行政からの依頼(講演等)への対応
8. 行政との協働(イベント等の共催)
9. 特に活動していない
10. その他( )

※「行政が主催する会議」とは、委員会、審議会、検討会、協議会等の会合を指します。

Q15. Q14の選択肢より、今後特に強化したい、または取り組みたい活動について、優先順位の高い順に上位3つまで選び、番号をご記入ください。

優先順位 ①( ) ②( ) ③( )

Q16. Q14の設問で「5.行政が主催する会議※への参加および傍聴」を選択された方にお伺いします。

2014年4月以降に参加された会議の名称、主催者および参加した立場を下表にご記入ください。(最大5つまで)

	会議の名称 (具体的にご記入ください)	主催者 (番号をご記入ください)	参加の立場 (番号をご記入ください)
		1. 厚生労働省 2. 都道府県 3. 市区町村 4. その他	1. 委員 2. 参考人 3. 傍聴者 4. その他
1			
2			
3			
4			
5			

## V. 製薬会社および製薬協について

Q17. 製薬協では、「企業活動と患者団体の関係の透明性ガイドライン」※を策定しています。  
ご存知でしたか。

(参考 URL: [http://www.jpma.or.jp/about/basis/kanjadantai/tomeisei02/pdf/tomeisei02\\_gl.pdf](http://www.jpma.or.jp/about/basis/kanjadantai/tomeisei02/pdf/tomeisei02_gl.pdf))

1. 知っている
2. 知らなかった

※製薬協では、会員企業が患者団体に提供している金銭的支援等について、一定のルールの下に情報を開示することにより、一層の透明性を確保し、その活動が高い倫理性を担保したうえで患者団体の活動・発展に寄与していることについて広く理解を得ることが重要であると考え、2012年3月に「企業活動と患者団体の関係の透明性ガイドライン」を策定しました。  
会員各社は本ガイドラインに基づき、各社でガイドラインを策定し、情報公開を行っています。

Q18. 製薬企業から、金銭支援以外でのサポートで助かった、あるいは有用であった事例があればご自由にご記入ください。

( )

Q19. 製薬協や製薬会社への期待やご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

( )

アンケートは以上で終わりです。お忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。

製薬協では、来るべく2025年に向けて、研究開発志向型の製薬企業の団体として、その使命を果たすために、今後、どのような視点で、何に取り組む必要があるか、そして製薬産業以外の方に創薬イノベーションの価値と重要性について、理解と協力を得ることを目的として『製薬協 産業ビジョン2025』を本年1月に策定し、発表しています。(参考 URL: [http://www.jpma.or.jp/about/jpma\\_info/pdf/overview.pdf](http://www.jpma.or.jp/about/jpma_info/pdf/overview.pdf))

本編では、患者参加型医療の実現に向けて取り組むべき内容についても触れておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも当協会の活動にご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

製薬協 患者団体連携推進委員会